

4 . 総合事業計画の各年度事業計画			「八戸市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書」(H21.3.19申請)より抜粋
4 - 1 . 初年度(平成21年度)事業計画			
(1) 事業計画の概要(目標)等			
事業の名称	事業の概要(目標)	実行主体	
事業1-1:市内幹線軸等間隔運行・共同運行化プロジェクト	<p>市内幹線軸における等間隔運行を実施するとともに、実施効果が見込める路線については、共同運行化を検討・実施する。</p> <p>実施検討幹線軸 八太郎、中居林 *可能であれば、八戸ニュータウン、多賀台の幹線軸に係る検討も開始する。</p>	<p>八戸市交通部 南部バス(株) *八戸市が調整役となり検討</p>	
事業1-2:小型乗合交通ビジネスモデル化プロジェクト	<p>夜間や休日の小規模需要時間帯における乗合タクシーの導入を検討、実施する。</p> <p>次年度の実験運行を視野に、関係者間により、具体の運行計画を企画検討する。</p>	<p>八戸市タクシー協会 *八戸市が調整役となり検討</p>	
事業1-3:等間隔運行路線情報戦略プロジェクト  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <b>H21 補助事業</b> </div>	<p>等間隔運行実施済路線(市内幹線軸)の主要停留所において、共通時刻表・路線図・路線案内の掲出を行うとともに、紙・ウェブ媒体による周知広報を実施する。</p> <p>主に八戸駅線沿線について、年度内の実施を目標とする。</p>	<p>八戸市交通部 南部バス(株) *八戸市が調整役となり検討</p>	
事業2:「育てる公共交通」(協働交通)構築プロジェクト  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <b>H21 補助事業 見送り</b> </div>	<p>主に市単独補助路線などを対象に沿線住民の積極的関与を前提とした運行スキームへの転換を図る。</p> <p>上半期中に2路線程度を対象に、沿線住民ないし交通事業者の発意のもと、実施計画を策定し、下半期に試験運行を行い、当該試験運行に対する運行負担金の支出を行う。</p> <p>また、他路線での実践可能性も並行して検討し、可能であれば、沿線住民との協議等を開始する。</p>	<p>八戸市地域公共交通会議 (運営・運行主体 市民・一般乗合旅客自動車運送業者等)</p>	

<p>事業3 - 1 : 運賃体系再構築プロジェクト</p>	<p>現在の運賃区界を改定し、細かすぎない運賃制度を設定しつつ、中心街等での乗継に配慮した仕組みを構築。</p> <p>平成23年度当初の運賃改定に向けた次年度における事前作業に向けて、関係者による検討・協議を行う。</p>	<p>八戸市交通部 南部バス(株) 十和田観光電鉄(株) * 八戸市が調整役となり検討</p>
<p>事業3 - 2 : 企画乗車券企画・商品化プロジェクト</p> <p style="text-align: center;"><b>H21 補助事業</b></p>	<p>事業者ごとの一日乗車券の共通化やインパクトある企画乗車券の商品化を検討。</p> <p>関係者による検討を行い、下半期での試行販売を行う。</p>	<p>八戸市交通部 南部バス(株) 十和田観光電鉄(株) * 八戸市が調整役となり検討</p>
<p>事業4 - 1 : 「バスマップはちのへ」発行プロジェクト</p> <p style="text-align: center;"><b>H21 補助事業</b></p>	<p>公共交通活性化プログラム事業により東北運輸局が作成したバスマップの提供を開始するとともに、モビリティ・マネジメント施策としての活用策を検討する。</p> <p>試行的な配布を開始し、またウェブ媒体での情報供給を行う。</p>	<p>八戸市交通部 南部バス(株) 十和田観光電鉄(株) 八戸市</p>
<p>事業4 - 2 : 路線ナンバリング設定プロジェクト</p> <p style="text-align: center;"><b>H21 補助事業</b></p>	<p>路線ナンバリングを設定し、LED・方向幕を改修・更新する。</p>	<p>八戸市交通部 南部バス(株) 十和田観光電鉄(株) * 八戸市が調整役となり検討</p>
<p>事業4 - 3 : 来街者対策バス情報案内プロジェクト</p>	<p>中心市街地及び八戸駅および本八戸駅等を対象に路線バスの利用案内に関する案内表示等を整備する。</p> <p>次年度の実施に向け、具体設計や財源調整を行う。</p>	<p>八戸市</p>

(2) 事業費等

事業の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
事業1 - 1 : 市内幹線軸等間隔運行・共同運行化プロジェクト	実行主体(構成団体)の自主財源にて検討・実施する。	_____	_____
事業1 - 2 : 小型乗合交通ビジネスモデル化プロジェクト	実行主体(構成団体)の自主財源にて検討・実施する。	_____	_____
事業1 - 3 : 等間隔運行路線情報戦略プロジェクト	1,100 千円	550 千円	550 千円

事業2:「育てる公共交通」 (協働交通)構築プロジェクト		7,052 千円	3,526 千円	3,526 千円
事業3 - 1:運賃体系再構築プロジェクト	実行主体(構成団体)の 自主財源にて検討・実施 する。		—————	—————
事業3 - 2:企画乗車券企画・商品化プロジェクト		871 千円	435 千円	436 千円
事業4 - 1:「バスマップ はちのへ」発行プロジェクト		972 千円	486 千円	486 千円
事業4 - 2:路線ナンバリング設定プロジェクト		9,970 千円	4,985 千円	4,985 千円
事業4 - 3:来街者対策バス情報案内プロジェクト	実行主体(構成団体)の 自主財源にて検討・実施 する。		—————	—————
小計		19,965 千円	9,982 千円	9,983 千円

# 八戸市地域公共交通活性化・再生総合事業 平成21年度実施予定事業の概要

(※検討・企画ベースのみの事業は除く)

## 市内幹線軸バス路線の便利さ向上！

### ○等間隔運行路線情報戦略プロジェクト

等間隔運行路線の主要停留所において、時刻表等の掲出方法を改善するほか、周知方法の工夫を図り、幹線軸バス路線の利便性をアピールする。

## 「手軽に乗れる」バスサービスの実現！

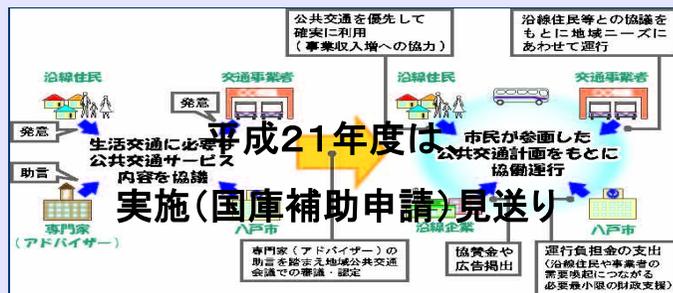
### ○企画乗車券企画・商品化プロジェクト

小グループで利用可能なお得感のある一日乗車券などの商品を企画し、期間・地域限定での試行を行なう。

## 「地域の生活に使える」公共交通モデルへの転換！

### ○「育てる公共交通」(協働交通)構築プロジェクト

主に市単独補助路線などを対象に沿線市民等の積極的関与を前提として必要不可欠な「移動確保」を図るとともに、沿線市民等やサービスプロバイダー(乗合交通事業者)による「努力」を還元できるような支援スキームを確立する。



「育てる公共交通」実施イメージ

## まちなか公共交通の「わかりやすさ」倍増！

### ○「バスマップはちのへ」発行プロジェクト

3事業者共通のバスマップを発行し、試供的に転入者等に提供するとともに、モビリティ・マネジメント・ツールとしての活用方策を検討する。

### ○路線ナンバリング設定プロジェクト

バスマップに掲載している路線ナンバリングにあわせて、バスの行先表示(LED・方向幕)等を改修・更新する。



『3事業者共通 '09バスマップはちのへ』